

平成30年度事業計画書

基本方針	当財団は、公益法人としてつくば市の発展を目指して、市内の文化・芸術団体等との連携を強化し、広く文化芸術の振興に資する諸事業を行い、国際都市つくばにふさわしい豊かで魅力ある市民生活の実現と健全な地域社会の形成に寄与することを目的とする。
------	---

【公益目的事業】

1. 文化芸術振興事業	<p>指定管理者として管理運営するノバホール及びつくばカピオを主な会場として音楽や演劇等の文化芸術公演や美術展等の事業をつくば市と共催により実施する。事業は、アンケート調査等を参考にしながら、関連事業（ワークショップやアウトリーチ）の充実により、市民が文化芸術に接する機会の向上を図る。</p> <p>そのほか、特定寄附金等を活用することにより、地域で活動する市民文化芸術団体の活動に対して支援等を行う。</p> <p>（1）つくば国際音楽祭事業</p> <p>優れた音響効果を持つノバホールの特性を最大限利用して音楽祭を開催する。34回目の開催となる今年は、他団体との共催公演（共同主催）2公演を含めて全5公演を実施する。テーマを「国内外の一流ピアニストの競演」とし、クラシックをはじめ、映画音楽等のポピュラー音楽、ジャズなど、良質な音楽を提供し、クラシックファン以外の入場者の促進を図る。</p> <p>《計画する事業》</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">クラシック系音楽</td> <td style="padding-left: 20px;">3事業</td> <td style="padding-left: 20px;">（29年度 3事業）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ポピュラー系音楽</td> <td style="padding-left: 20px;">1事業</td> <td style="padding-left: 20px;">（29年度 0事業）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ジャズ系音楽</td> <td style="padding-left: 20px;">1事業</td> <td style="padding-left: 20px;">（29年度 1事業）</td> </tr> </table> <p>（2）つくば市文化芸術事業（鑑賞型）</p> <p>ノバホール、つくばカピオの特性を活かして、音楽、演劇、芸能等に関する公演を開催し、市民が良質な文化芸術に接する機会を提供する。幅広い客層に対応できるように、他団体との共催公演など5事業を含めて12事業を実施する。</p> <p>《計画する事業》</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">クラシック系音楽</td> <td style="padding-left: 20px;">4事業</td> <td style="padding-left: 20px;">（29年度 3事業）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ポピュラー系音楽</td> <td style="padding-left: 20px;">1事業</td> <td style="padding-left: 20px;">（29年度 0事業）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">演劇</td> <td style="padding-left: 20px;">1事業</td> <td style="padding-left: 20px;">（29年度 3事業）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">伝統芸能</td> <td style="padding-left: 20px;">3事業</td> <td style="padding-left: 20px;">（29年度 2事業）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">舞踊</td> <td style="padding-left: 20px;">3事業</td> <td style="padding-left: 20px;">（29年度 1事業）</td> </tr> </table> <p>（3）つくば市文化芸術事業（参加・体験型）</p> <p>参加・体験型事業を実施することにより、市民が自発的に文化芸術活動を行うための契機づくりに努める。年末の風物詩として定着し、多くの市民が合唱団として参加する「つくばで第九」に加え、2年目を迎えるポピュラー音楽をテーマとする音楽講座、演劇によるアウトリーチ事業など全5事業を予定する。</p>	クラシック系音楽	3事業	（29年度 3事業）	ポピュラー系音楽	1事業	（29年度 0事業）	ジャズ系音楽	1事業	（29年度 1事業）	クラシック系音楽	4事業	（29年度 3事業）	ポピュラー系音楽	1事業	（29年度 0事業）	演劇	1事業	（29年度 3事業）	伝統芸能	3事業	（29年度 2事業）	舞踊	3事業	（29年度 1事業）
クラシック系音楽	3事業	（29年度 3事業）																							
ポピュラー系音楽	1事業	（29年度 0事業）																							
ジャズ系音楽	1事業	（29年度 1事業）																							
クラシック系音楽	4事業	（29年度 3事業）																							
ポピュラー系音楽	1事業	（29年度 0事業）																							
演劇	1事業	（29年度 3事業）																							
伝統芸能	3事業	（29年度 2事業）																							
舞踊	3事業	（29年度 1事業）																							

《計画する事業》

参加・体験型 5事業（29年度 5事業）

（4）美術展事業

茨城県つくば美術館を会場に、筑波大学芸術系教授をはじめとする市内在住の作家の作品を集めた「つくば美術展」を開催する。洋画・日本画・彫刻作品を、新作を交えて紹介する。

（5）絵画の制作表彰事業（アート・デイキャンプ）

子どもたちを対象に夏休みを利用して絵画制作体験，関連企画（アート探検隊），成果発表展，優秀作品の表彰を筑波大学と共催で実施する。筑波大学芸術地域貢献推進室の協力のもと，学生の指導による絵画制作を筑波大学構内で行う。作品展及び表彰式はつくば美術館，アルスホールを予定する。

（6）文化芸術活動支援事業

市内の文化芸術団体の地域貢献に努める活動，文化活動を通じたコミュニティ活動，伝統芸能保存活動等に対して，財政的，人的支援を行い，広く文化芸術の振興に資することにより市民生活を豊かにする。主要な財源となる寄附金の安定確保に努め，文化芸術活動を行う市民の支援を目指す。

2. ノバホール管理運営事業

管理運営上の方針について

ノバホールは、昭和58年（1983年）の開館以来、「地域の芸術文化の振興と住民福祉の増進を図り、もって文化水準の向上に寄与する」ことを目的として活用されている。

施設の特徴は、素晴らしい音響効果と併せて、ピアノの世界3大名器といわれるスタインウェイ、ベーゼンドルファー、ベヒシュタインを所有する全国的にも希少なホールであることから、3大ピアノの特徴を発信しつつ、市民の“宝”として認識を高め、利用者への意識向上を図る。

公共施設として、おもてなしの心をもって施設環境の向上を図り、安全性、快適性、公平性を高めるとともに、催物の開催に伴うサポート体制を整備することにより、市民が芸術文化に接し発表する場を提供していく。また、催物の広報や文化情報の発信を積極的におこなうことにより、市内だけでなく県南地域の拠点のホールとして、つくば市民はもとより周辺地域の芸術文化活動の発信基地となるよう努める。

当財団は、指定管理者としての業務の他に、つくば市とともに、芸術文化事業を担っていることから、管理事業と一体的に取り組むことにより、施設の有効利用が高められ、文化芸術の振興を効率的に促進できる。その結果、公益財団法人としての使命でもある、芸術文化の振興と地域社会の健全な発展に寄与していくものである。

安全・安心面からの対応について

管理運営にあたっては、安全・安心の確保が最も重要であると考え、下記のとおり、未然防止策を講じることにより事故等のリスク軽減を図る。

また、AEDを設置し普通救命講習修了者を配置することで、急病人発生時の初期対応に万全を期すとともに、巡回や防犯カメラ等により館内及び建物周辺の不審者等を監視し、ノバホールに加えつくばセンタービル全体の防犯対策も強化する。

さらに、緊急時の対応については、消防計画及び防災計画に基づき自衛消防隊を組織して、定期的な訓練を重ね、つくばセンタービル自衛消防隊と連携して対応する。

項目	回数	内容
巡視点検	毎日4回以上	施設の巡回をおこない、火気及び消防設備動作障害、不審者及び不審物の早期発見に努める。
設備点検	毎日	機械設備の監視をおこない、機械設備の不具合を早期に発見するとともに機能保全に努める。
建物点検	毎月	施設の巡回をおこない、ドアや階段手すり等の現状確認及びメンテナンスを実施する。
事前打合せ	随時	必要事項の確認、指導を行い、利用者と協力して安全管理を実施する。

施設管理の実施について

職員の配置については労働基準法を遵守するとともに、配置基準に基づいて実施す

る。

[配属職員]

配置職員	担当業務	資格・その他
館長①	総責任者	防災管理者・防火管理者，普通救命講習修了者
職員②	管理事務責任者	防火管理講習修了者，普通救命講習修了者
職員③	管理事務	防火管理講習修了者，普通救命講習修了者
職員④	管理事務	普通救命講習修了者
職員⑤	管理事務	
職員⑥	管理事務	

[勤務形態]

担当業務	勤務形態
管理事務	昼勤務（午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分）と夜勤務（午後 1 時 15 分から午後 10 時）を基本とする。
舞台管理	昼勤務（午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分）を基本とし，催物がある場合は終了まで勤務する。
清掃	午前 7 時 30 分から午後 4 時 30 分まで勤務する。

*大規模地震などの災害時には，休暇中の職員の出勤など，「緊急時対策」計画に基づき，増員対応をとる。

[配置基準]

施設名	利用内容	人数	内訳
ホール	公演中	5 人	事務 3 人，舞台 2 人
	リハーサル	3 人	事務 2 人，舞台 1 人
小ホール	公演中	3 人	事務 2 人，舞台 1 人
	リハーサル	2 人	事務 2 人
同時利用	公演中	6 人	事務 4 人，舞台 2 人
	リハーサル	4 人	事務 3 人，舞台 1 人
利用なし (受付業務等)	08:30~17:15	3 人	事務 2 人，舞台 1 人
	17:15~20:00	2 人	事務 2 人

職員の研修について

施設の管理運営を適正に行うためには，職員の研修が重要となるため，以下の研修を実施して，さらなる職員の資質・能力の向上に努める。

項目	回数	内容
設備取扱研修	年 1 回	音響設備，照明設備，非常放送設備の使用方法に関する研修
防火防災研修	適宜	防火管理者，防災管理者の資格取得により防火・防災意識の向上を図る。

防火防災訓練	年 2 回	自衛消防隊の任務や連携を確認する。つくばセンタービル自衛消防隊と連携して訓練を実施する。
公立文化施設協議会	年 2～3 回	会議や施設管理研修に参加し、情報収集・情報交換を図る。
定期研修	年 1 回	接遇、応急救命、防犯対策等に関する研修
定例会議	月 1 回	職員の対応を統一させ、催事情報を共有することにより円滑な運営を図る。

アンケートの実施について

「利用者の声を反映させた管理運営」を実現するため、要望を的確に把握し改善することでサービスの向上を図る。

情報の発信について

下記の情報を発信することにより、サービスの向上と施設の活性化を図る。

項目	内容
財団広報紙	施設の案内、イベント情報など
地域情報紙	イベント情報など
パンフレット	施設情報、利用方法、料金表、地図
ホームページ	施設情報、催事情報、チケット発売情報、施設予約状況 新着情報等
ダイレクトメール	施設情報、財団自主事業案内チラシ・その他情報
他団体と共同でのPR	つくば市・つくばセンター地区活性化協議会並びに筑波研究学園都市交流協議会のメンバーとしてイベントに参加

サービスの向上について

以下のサービスを提供することで、利用者の利便性とサービスの向上を図り利用者の拡大に努める。

項目	内容
チケット販売	チケット販売業務の受託
コピーサービス	コピー機の貸し出し
駐車券販売	割引駐車券の受託販売、駐車場案内図の配布
備品の貸し出し	財団備品の貸し出し（看板、スタンド等）
ピアノ無料開放	小ホールでコンサートピアノを弾く機会を提供
自動販売機の設置	1F・2Fホワイエに自動販売機を設置
施設環境の向上	玄関前のプランターやロビー等に植物を通年で設置する。

トイレの環境維持管理	エアフレッシュナー（芳香装置）を設置・管理 季節の花や植物を設置
自主事業	<p>ノバホールの特性(コンサートホールとしての音響効果等)を多くの市民が理解できる自主事業を企画し、ノバホールがより市民に愛され、クラシック音楽(生音)を気軽に楽しむ土壌を育む。</p> <p>・主に親子を対象とし、ノバホールの舞台機構を紹介したり、簡単な照明操作を体験したりする「バックステージツアー」。ノバホールのハード面から、ホールの役割・仕事に対する理解を深めることを目的に実施する。(夏休みなどに実施)</p> <p>・つくば市に在住するアーティスト等の出演で、気軽に来場できるホワイエコンサート、生音の響きを体感できるクラシックコンサート等を実施する。市民にとってホールをより身近な存在にするとともに音響特性等のノバホールのすばらしさをより多くの市民に伝えることを目的とする。</p>
<p>定期清掃及び設備保守点検について</p> <p>施設機能を十分に発揮させ、利用者が快適に利用できるよう維持管理に努める。</p> <p>実施計画書(別紙の通り)</p>	

3. つくば
カピオ
管理運
営事業

管理運営上の方針について

つくばカピオの管理運営については、「市民に文化活動、スポーツ活動等による交流の場を提供し、豊かな市民生活の形成に寄与する」という設置目的を十分に理解して、施設の管理運営を遂行する。

また、公の施設として市民に対して公平・公正な利用機会を確保すると共に施設の利用承認は適正に運用する。

貸館業務はサービス業であることを認識し、利用者の立場からみて利便性に優れた施設を目指し、おもてなしの心をもって施設環境の向上に努めることに加え、情報提供や利用者支援など柔軟な対応と円滑な運営に努めることで満足度の高い施設運営を行う。

また、消防法など各種法令及び条例を遵守するとともに、個人情報の取扱いについても法令や財団規定に基づきコンプライアンスを徹底させる。

当財団は、つくばカピオ等を会場につくば市芸術文化事業を行っていることから、指定管理事業を一体的に取り組むことで、利用者・来館者が容易に芸術文化に接する機会を効率的に促進できる。その結果、公益財団法人としての使命でもある、芸術文化の振興と地域社会の健全な発展に寄与していくものである。

安全・安心面からの対応について

管理運営にあたっては、安全・安心の確保が最も重要であると考え、下記の通り、未然防止策を講じることにより事故等のリスク軽減を図る。

緊急時の対応については、消防計画に基づき自衛消防隊を組織して、定期的な訓練を行なう。また、大規模災害に際して避難所開設まで一時的に周辺地域の被災者を受け入れることにも配慮し、行政の要請に対応するよう準備をする。

項目	回数	内容
巡視点検	毎日4回以上	施設の巡回をおこない、火気及び消防設備動作障害、不審者及び不審物の早期発見に努める。
設備点検	毎日	機械設備の監視をおこない、機械設備の不具合を早期に発見するとともに機能保全に努める。
建物点検	毎月	施設の巡回をおこない、ドアや階段手すり等の現状確認及びメンテナンスを実施する。
事前打合せ	随時	必要事項の確認、指導を行い、利用者と協力して安全管理を実施する。

施設管理の実施について

職員の配置については労働基準法に配慮するとともに、配置基準に基づいて実施する。

[配属職員]

配置職員	担当業務	資格・その他
館長①	総責任者	防火管理講習修了者・普通救命講習修了者

職員②	管理事務責任者	防火管理者・普通救命講習修了者
職員③	管理事務責任者	防火管理講習修了者・普通救命講習修了者
職員④	管理事務	防火管理講習修了者・普通救命講習修了者
職員⑤	管理事務	普通救命講習修了者
職員⑥	管理事務	普通救命講習修了者

[勤務形態]

担当業務	勤務形態
管理事務	昼勤務(午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分)と夜勤務(午後 1 時 15 分から午後 10 時)を基本とする。
舞台管理	昼勤務(午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分)を基本とし、催物がある場合は終了まで勤務する。
設備管理	2 交代で午前 8 時から午後 10 時まで勤務する。
清掃	午前 8 時から午後 5 時まで勤務する。

※大規模地震などの災害時等には休暇中の職員の出勤など、「緊急時対策」計画に基づき、増員対応をする。

[配置基準]

施設名	利用状況	人数	内訳
アリーナ	公演中	5 人	事務 3 人・舞台 2 人
	リハーサル	3 人	事務 2 人・舞台 1 人
ホール	公演中	5 人	事務 3 人・舞台 2 人
	リハーサル	3 人	事務 2 人・舞台 1 人
全館利用	開催中	6 人	事務 4 人・舞台 2 人
	準備	3 人	事務 2 人・舞台 1 人

職員の研修について

施設の管理運営を適正に行うためには、職員の研修が重要であるため、以下の研修を実施して、さらなる職員の資質・能力の向上に努める。

項目	回数	内容
設備取扱研修	年 1 回	音響設備, 照明設備, 非常放送設備の使用方法に関する研修
防火防災訓練	年 2 回	自衛消防隊の任務や連携を確認する。 実際に火災が起きた想定で訓練を行なう。
防火研修	随時	防火管理者の資格取得により防火・防災意識の向上を図る。
公立文化施設協議会	年 2~3 回	会議や施設管理研修に参加し, 情報収集・情報交換を図る。
定期研修	年 1 回	接遇, 防犯, 応急救命法等の研修

定例会議	月 1 回	職員の対応を統一させ、催事情報を共有することにより円滑な運営を図る。
体育設備研修	随時	体育設備の使用方法に関する研修

アンケートの実施について

「利用者の声を反映させた管理運営」を実現するため、要望を的確に把握し改善することでサービスの向上を図る。

情報発信について

下記の情報を発信することにより、サービスの向上と施設の活性化を図る。

項目	内容
財団広報紙	施設の案内、イベント情報など
地域情報紙	イベント情報など
パンフレット	施設情報、利用方法、料金表、地図
ホームページ	施設情報、催事情報、チケット発売情報、施設予約状況 新着情報等
ダイレクトメール	施設情報、財団自主事業案内チラシ・その他情報
他団体と共同でのPR	つくば市・つくばセンター地区活性化協議会並びに筑波研究学園都市交流協議会のメンバーとしてイベントに参加

サービスの向上について

以下のサービスを提供することで、利用者の利便性とサービスの向上を図り利用者の拡大に努める。

項目	内容
チケット販売	チケット販売業務の受託
コピーサービス	コピー機の貸し出し
駐車券販売	割引駐車券の受託販売
備品の貸し出し	財団備品の貸し出し(プロジェクター、スタンド等)
施設環境の向上	駐車場のプランターや施設内に植物を通年で設置する。
トイレの環境維持管理	エアフレッシュナー(芳香装置)を設置・管理 季節の花や植物を設置
自主事業	自主事業を行うことにより、市民に親しみを持ってもらう。また、住みやすい街づくりの一助として親子で楽しめるコンサート等を企画する。 ・普段立ち入ることのできない、ホールの舞台裏を体験する「ホールを知ろう、バックステージツアー」。特別な体験をすることにより、より親しみを持ってもらう。

		<p>・催事中の災害や緊急事態の疑似体験などを行う「つくばカピオ避難訓練コンサート」の開催により、いざというときの対応を市民と共に学ぶ。</p>
	<p>自動販売機の設置</p>	<p>自動販売機の拡充</p>
	<p>定期清掃及び設備保守点検について</p> <p>施設機能を十分に発揮させ、利用者が快適に利用できるよう維持管理に努める。</p> <p>実施計画書(別紙の通り)</p>	

【収益事業】

<p>1. 公益目的外施設管理運営事業</p>	<p>(1) 公益目的外施設貸与 指定管理者として管理運営するノバホール及びつくばカピオの有効利用を図るため、民間団体・法人などが公益目的以外に利用する公演や展示会に施設を貸与する。</p> <p>(2) 市民ギャラリーの施設貸与 中央公園のレストハウスの一部を市民ギャラリーとして管理運営し、美術等の作品発表の場として施設貸与する。</p>
-------------------------	---